臨時市議会

高知カシオ操業開始に伴い
工業用排水施設を建設

臨時市議会が、二月六日に開かれ、高知カシオの操業開始に必要な工業用排水施設を建設することになりました。

この施設は、水源地施設と、直径二〇〇㍉の鋳鉄の送水管一、〇八〇㍍、同じく直径二〇〇㍉の塩化ビニル製の排水管七一六㍍で、工事費は九千百七十万円。日量は最大一、五〇〇㌧で、当面一日七〇〇㌧程度を高知カシオに送水する予定です。

水源地施設は、香南清掃組合の焼却場の北側に建設され、広域農道沿いに送水、排水口は新国分川橋の中央部。

南国市にとっては初めての施設だけに、慎重な審査が行われました。質疑の主な内容は、次の通りです。

●地元対策は万全か。

○すべて完了したわけではないが、万全を期す。排水については、地元の代表者にカシオのほかの工場を視察していただく。

○原則はその通りであるが、他の自治体の企業誘致の際の負担と比べてもそれほど多くはない。今後このような出費はないものと考えている。

●企業誘致は財政を圧迫しないように進めるべきで、今回の予定外の投資は問題。

水量については、地下水が一番下がった時期に調べる。

十市地区市政懇談会
地区公民館改築は4年度

十市地区市政懇談会が、二月十二日、十市老人憩いの家で開かれ、市役所から市長など八人が出席、地元の皆さん約三十人と話し合いを行いました。

会では、まず北村謙一十市地区公民館長が「直接会話を交え、有意義な会にしたい」とあいさつ。この後市長が市政の現状や重点施策などを説明し、質疑に移りました。

十市地区はパークタウンを抱え、これから人口が確実に増えるとともに、いくつかの課題も抱えており、これらの地元の問題に議論が集中しました。

地区公民館の改築について

●地区公民館の改築はいつになるのか。

○平成三年度にと思ったが、財政のやりくりがつかず、三年度は用地取得のみで、建築は四年度。面積は三六〇平方㍍を予定しているが、これはパークタウンの人口は見込んでいない。

●支所は公民館を建築する際、取り壊さなければならないが、どうするのか。

○憩いの家への間借りと、新たにプレハブを建てるという二つの方法を考えていたが、憩いの家への間借りは困るということなので、プレハブを建設する。

市道などの改修について

●十市地区は市道が狭く、曲がりくねっている。路肩の補修だけでもお願いしたい。また、市道海岸線の排水対策は。

○市道の維持、修繕のための予算が非常に少ない関係でご迷惑をかけている。現地を見た上で善処する。

海岸線については、検討会で解決方法を探っていく。

●農免道路の進捗状況は。

○地元の皆さんの協力が得られれば、平成三年度に一部用地の買収と、工事を予定している。

ハエ対策について

●ハエ対策はどうなっているのか。

○ハウス園芸農家の協力で一定の効果を上げている。パークタウンも完成し、環境美化の観点から、今まで以上に運動を推進し、発生を抑える方法を一致協力して考えなければならない。根を痛めず、ハエをわかさない肥料を計画しているようなので、効果的なものであれば市としても応援する。

花嫁対策について

●農業後継者の花嫁対策の現状は。

○4Hクラブを主体にした会で、ダンスパーティーやスケートツアー、カヌースクール、バーベキューパーティーを実施しているが、女性に魅力を感じてもらえる農業者になることが必要。農協との連携も重要。また、婦人組織でも真剣に取り上げ、外面のよさだけでなく、内面のよさを見出せるよう、もっと母と娘が話し合う必要があると思う。

前浜地区市政懇談会
環境問題に議論が集中

公民館事業の一環として、前浜地区市政懇談会が、二月十四日、前浜地区公民館（西山博史館長）で開かれ、地元の代表者や市の執行部二十五人が参加。環境問題などについて、熱心に意見を交換しました。

主な内容は次の通りです。

環境問題について

●ごみ袋の販売方法に問題がないか。例えば、現在地区で1年間の分を一括購入する方法がとられているが、割り引きなどのメリットがない。また、ほかの香南清掃組合加入の町村はスーパーなどでも販売しており、手軽に手に入るが、南国市は市役所まで買いに行かなければならない。価格、販売方法について、検討してほしい。

○ごみ袋代は、材料代と処理手数料の一部を皆さんに負担していただくという考え方で、現在一枚二十円でお願いしている。この価格は、県下でも安い方で、これ以上の割り引きはできない。

現在地区の衛生委員の皆さんを通して各地区でまとめ買いをしていただき、衛生委員会に手数料をお支払いしている。この手数料は各地区の環境、衛生関係の事業に使われている。今後、一括購入分以外に衛生委員の皆さんに余分のごみ袋を保管しておいていただき、わざわざ市役所まで買いに来なくてもよいようにしていきたい。

●後川の改修が間もなく終わり、県にお願いして右岸には桜並木を植えることになっているが、水質がよくない。家庭の雑排水については合併処理槽で対処する方法があるが、市は処理槽の設置を推進するためにどのような方法をとっていくのか。なるべく個人の負担が少なくなる方策を考えてほしい。また、処理槽を設置しても処理後の水を流すところがないが。

○合併処理槽の設置は国の事業で、一軒につき七十万円から八十万円の設置費用が必要。その うち三十五万円から四十万円を県、市が補助することになっており、市としてはこれ以上の補助は考えていない。

南国市では平成四年から導入するが、高知市などの現状を見ると、価格より地元の排水の同意を得るのが難しく、設置する家庭が少ないようだ。南国市においても、このことが大きな問題になると思う。また、土地が狭いと、事実上設置は不可能。この地域の排水問題については、非常に遅れたが、三年度に検討し、計画を立てていく。

同和問題について

●各部落のものは昔から「公民館」と呼んでいたが、同和地区に建てられたものは「集会所」という名称になっている。同和対策事業の関係でどうしてもこうしなければならないのか。

○名称は「集会所」でなくてもよいが、これは地域改善対策特定事業に関する国の特別措置法によって造られたもので、その法律の中で「集会所」となっている関係。今は事業の消化に全力を注ぎ、名称については、平成三年度にこの法律の期限が切れた後に同和対策審議会で検討したい。

空港拡張について

●すでにジェット化されている高知空港をなぜまた拡張するのか。拡張は大型機就航を招き、騒音が大きくなるので問題。

○県が空港拡張を働きかけているのは、国際化時代をにらんだもので、大型の国際線の航空機も利用できる空港にしたいという考えから。ただ、拡張によって優良な農地を失い、騒音に悩まされるのは南国市の住民なので、議会の特別委員会などで意見を出していただき、市としての方向を考えていきたい。

公園整備について

●吾岡山はどのように整備するのか。また大湊地区に公園を造る考えはないか。

○地元の推進協議会で検討中で、まだ結論は出ていない。ふるさと創生の一億円を利用して、現在人材育成の観点から市民の視察、研修を助成する「ふるさと見聞録事業」を行っており、また公園整備として「まほろばの里整備構想」を進めている。吾岡山についてもこれを利用し、市民の憩いの場となるようにしていきたい。現在、ラグビー場、文化会館などの案も出ているが、多目的な運動広場を含めた公園として整備したい。

大湊地区に公園を造る計画はないが、し尿処理場の周辺整備として、南部総合福祉施設のようなものを考えていきたい。

懇談会では、そのほか、文化財保護やし尿処理場など幅広いテーマについて話し合われました。